

2016年12月9日

**【格付維持】****Citigroup Inc.**

発行体格付： A－ [格付の方向性：安定的]

**Citibank, N.A.**

発行体格付： A [格付の方向性：安定的]

**【格付変更】****シティグループ証券**

発行体格付： A－ → A [格付の方向性：安定的]

---

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

**【格付理由】****○Citigroup Inc.、Citibank, N.A.**

シティグループは米総合金融グループ大手。事業再構築やノンコア事業の縮小が進んだことで、グループの収益力は改善している。資産の質も維持しており、リスク耐久力は格付に見合う水準にある。流動性も問題ない水準にある。以上のような状況を踏まえ、Citigroup Inc.、Citibank, N.A.の格付を維持した。格付の方向性は安定的。

なお、Citigroup Inc.の格付は持株会社固有のリスクを踏まえ、グループ全体の信用力をそのまま反映しているCitibank, N.A.の格付の1ノッチ下としている。

事業売却や人員削減を進めていることや、法務関連費用が減少していることに加えて、ノンコア事業を抱えるCiti Holdingsが赤字から黒字に転じていることなどが寄与し、グループの収益力は高まっている。2015年末の経費率は50%台まで低下している。ただし、2015年の収入の4割超を占める新興国経済が減速する中で、収入を安定的に伸ばすことは容易ではなく、法務関連費用が増加する可能性も残っており、厳格なコスト管理が欠かせない。また、米新大統領の下での経済政策によるメキシコを含む新興国経済や事業環境への影響にも注意が怠れない。

グループの不良債権比率は約1%まで低下している。2016年9月末のノンコア事業の資産は前年比約48%減少している。ノンコア事業のリスク資産も全体の約9%に縮小している。また、個人向けローンのうち約5割を占めるクレジットカードローンの延滞率も低下している。2016年にCostco社のクレジットカードポートフォリオを買収するなど、クレジットカード事業の拡大に取り組んでおり、資産の質への影響にも注視していく。

グループのリスク耐久力はAゾーンに見合う水準にある。2016年9月末の会社が試算した2019年完全適用時のグループ連結普通株式等Tier1比率は12.6%。グループ連結の補完的レバレッジ比率は7.4%で、2018年完全適用時に想定される5%の最低水準を上回っている。また、2016年6月に公表された当局の包括的資本分析およびレビュー(CCAR)によれば、増配や自己株式買い戻しを含む資本計画も異論なく承認された。当局の承認が前提とはいえ、過度に資本還元を増やしていくことがないか、資本政策の動向も見守っていく。

2016年9月末のグループの預貸率は約70%と良好な水準を維持している。2015年よりバーゼル3に基づく流動性カバレッジ比率(LCR)が段階適用されているが、会社試算では2016年9月末で平均LCRは120%。2017年完全適用時の最低基準100%をすでにクリアしている。

---

■お問合せ先 : インベスターズ・サービス管理部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp  
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <http://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<http://www.r-i.co.jp/jpn/policy/policy.html>をご覧ください。

## ○シティグループ証券

シティグループの日本事業における証券会社。シティグループは2015年、日本におけるリテールバンキング事業、クレジットカード事業を売却し、日本では法人・機関投資家向け事業に注力することになった。シティグループ証券はグループのコア事業である「インスティテューショナル・クライアント・グループ」部門の戦略において重要な位置にあることが明確となった。以上のことなどを踏まえ、格付はグループ全体の信用力をそのまま反映するように変更した。

## 【格付対象】

発行者：Citigroup Inc.

名 称	格 付	格付の方向性
発行体格付	A- (維持)	安定的

発行者：Citibank, N.A.

名 称	格 付	格付の方向性
発行体格付	A (維持)	安定的

発行者：シティグループ証券

名 称	格 付	格付の方向性
発行体格付	A- → A	安定的

■お問合せ先 : インベスターズ・サービス管理部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <http://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<http://www.r-i.co.jp/jpn/policy/policy.html> をご覧下さい。

## 信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	小林 正樹
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	細田 弘

信用格付を付与した日	2016年12月02日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2015. 05. 01] 金融機関等に共通する格付の考え方 [2014. 03. 13] 預金取扱金融機関 [2015. 12. 21] 証券会社 [2014. 05. 22] 金融グループの格付の考え方 [2013. 07. 31]

上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載しています。<http://www.r-i.co.jp/jpn/cfp/about/methodology/index.html>

評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。

<http://www.r-i.co.jp/jpn/ratingpolicy/index.html>

格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。

<http://www.r-i.co.jp/jpn/cfp/about/definition/index.html>

格付関係者	Citigroup Inc. Citibank, N.A. シティグループ証券
-------	---

注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。

利用した主要な情報	決算書類、開示情報
品質確保のための措置	公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。
情報提供者	格付関係者

## 信用格付の前提、意義及び限界

R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。

R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を保留したり、取り下げたりすることがあります。

利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。

■お問合せ先 : インベスターズ・サービス管理部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp  
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <http://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<http://www.r-i.co.jp/jpn/policy/policy.html> をご覧ください。